

県P連だより

広島県PTA連合会

陽だまり

No.44



平成26年10月26日、多くのご来賓をはじめ、1000人余りのPTA会員の方々の参加を得て、第43回広島県PTA研究大会安芸郡さか大会が盛大に開催できましたことを実行委員会を代表して心からお礼申し上げます。

この大会を開催するにあたり、平成25年8月に運営委員会を立ち上げ右も左もわからないまま、手探り状態で運営してまいりました。

運営委員は安芸郡4町から選出し、計12回の運営委員会を開催いたしました。安芸郡として初めて開催する県全域を対象とした大会なので不安もありましたが、4町の運営委員は最初から団結力が強く、「やるからには楽しくやろう」を合言葉に進めてきました。



実行委員長
川本 康裕

第43回広島県PTA研究大会 安芸郡さか大会

また、「安芸郡らしさ」をどう表現できるか不安でしたが、「らしさ」より「おもてなし」で大会を盛り上げることにしました。

そして「SAKAせよう そだてよう 子どもの未来」のスローガンのもとに、「私たち大人が無数の可能性を秘めた子どもたちを大切に育てるために何ができるか」、「子どもたちの未来が輝かしいものになるよう私たち保護者、地域、学校が『つながり』一層の連携を深め、子どもたちに輝かしい未来の花を『SAKA』せよう」との思いのもと、全員がひとつになることができました。

この大会で学んだ成果や明らかになった課題を踏まえて、今後も子どもたちの笑顔のために、私たち保護者が子どもたちとともに育つ「共育」の姿勢で、楽しみながらPTA活動に取り組んでまいります。

最後になりましたが、本大会を開催するにあたり、多くのPTA会員の皆様や大会運営委員の方々に、多大なるご尽力をいただき感謝の気持ちでいっぱい입니다。
心からお礼申し上げます。



大会報告

開会式には、広島県知事代理の広島県環境県民局長の中山雅文様をはじめとするたくさんのご来賓の皆様にご出席を賜りました。

午前中は、三原市立久井小学校・久井中学校PTA、三次市立十日市小学校PTA及び呉市PTA連合会の皆さんの実践発表。続いて、次期開催地である山県郡の大会実行委員の皆さんによるPR。お昼のアトラクションでは、「坂雅正会」の皆さんの雅楽、横浜小学校5年生全員で編成されたマリーンズバンドの皆さんの軽快なリズムの音楽を楽しむことができました。

午後の講演は、作家であり、漫画家でもある黒田クロ先生が『夢を実現するための人生方程式』と題して、「楽しい人生を送るためには自分で楽しいことを見つけ、目標を持ったらず決してブレないこと」「自分の未来は自分で変えられる。しかし、人は一人では生きていけない。全ては『ご縁』で繋がっている。」「父母から受け継いだ命の縁を大切に、夢に対する意識をしっかりとして頑張る欲しい」などと、ユニークでユーモアあふれるテンポの良いお話とともに、レクリエーション感覚の心理ゲームを楽しませていただきましたが、中身の濃い90分を過ごすことができました。

これから子育てを通じて、会員のみなさんと共に切磋琢磨していきたいと思ひます。

お忙しい中、今年度もたくさんの方のご参加に心より深く感謝を申し上げます。
(広島県PTA副会長 向井恵美)

第62回 日本PTA全国研究大会「長崎大会」報告

本年8月22日・23日、第62回日本PTA全国研究大会長崎大会が、異国情緒豊かな平和都市長崎において、全国各地から九〇〇人を超える方々の参加を得て開催されました。本県からは63名が参加し、県内各地で開催された六つの分科会に分かれて研修しました。本ページでは、広報委員の参加した第四・七分科会や全体会などについて紹介します。

第四分科会 ～広報活動～

会場 長崎ブリックホール 大ホール
広島県P理事 小川 剛司

テレビでお馴染みの高田明氏の基調講演が行われました。伝えるためには「一言する・行動する・情熱を傾けることが重要である」と話されました。

このことは広報に限らず、PTA活動を行う上で大事であると感じました。

パネルディスカッションでは、P活動を充実させるための保護者同士の連携事例紹介や、広報紙作成後に検証し「つなぐ」とや、広報紙以外での情報発信の重要性が語られました。

また、単なる活動報告ではなく、地域と「つなぐ」ために編集内容の検討も必要となります。広報という敬遠されがちな役割ですが、いかに楽しんで取り組むか、楽しさをどう発信し参加者を増やすかが「つなぐ」ことへの重要な一歩であると感じました。



運営面では、笑顔でのお出迎え、あたたかい歓迎が忘れられません。「笑顔と情熱」をキーワードに今後のP活動に取り組もうと思います。

第七分科会 ～国際理解～

会場 長崎ブリックホール 国際会議場
広島県P理事 吉森 溢美

ブライアン・パークガフニ教授による講演では、貴重な写真を用いての地域文化の紹介、カナダから日本に來られ日本女性との結婚・子育てをとおして感じられた交流の知恵や体験談が話されました。

子どもたちが仲間を尊重する心や自分の個性・長所を発見することができ今日の国際化社会に柔軟に対応するためには、家族のふれあいや地域とのつながりがより重要だと感じました。



四人のパネルディスカッションでは、アジアの国々の子育てについて知ることができました。四人が共通して話されたことは、「敬う心」がとても大切だということでした。古くから「子どもは親の背中を見て育つ」と言われてきたように、自ら行動し、子どもの見本となるよう努めたいと思います。



長崎大会あれこれ ～報告書から～

□ 昨年と違い、分科会の半日開催は短時間で内容も濃く、集中して研修できた。主催団体は、前年踏襲型ではなく、地域性等を生かした特色ある取り組みが求められる。

□ 分科会の講演後、地元の方々との交流タイムがあつて、各国の遊びを一緒にしたり、文化の紹介があつた。単P等での研修でも坐学だけでなく、体験型の企画も必要と思う。

□ PTA会長として「今何ができるか」と、考えさせられた。「良い学校、いい学校、新しい学校の創造」を目指すには、まずは学校、そして地域と保護者ができることから行動しなければならぬ。

□ 平成28年度は県大会の会場になっているので、長崎大会のスタッフの方々から学んだことを生かして、大会成功に向けていい準備をしていきたい。

□ 交流会では、他の郡市P連と交流する中で他郡市の取り組み、特に苦労される点を聞くことができて良かった。

どうあるべきか？

全国PTA研究大会

第一回大会は、日本PTA全国協議会が結成された翌年の昭和28年8月、三重県において、一三〇〇人の参加のもと開催されました。

大会は全国61協議会が持ち回りで開催していますので、数字の上では62回を迎えた今大会から二順目に入りました。

今こそ全国大会としてのPTA研究大会の開催の是非や在り方について再考すべき時に来ているのではないのでしょうか。

ここでは全国大会に関する意見について、本大会参加者の声を紹介します。
・全国から集まる必要性は感じるが、年々お祭り化している気がする。
・もつとシンブルになってほしい。
・京都大会以後、全体会の記念講演が競ってお祭り・イベント化してきているように感じる。

・毎年、ブロック大会・県大会も開催されていることから、全国研究大会にふさわしい大会の在り方を模索する必要がある。

ちなみに、平成23年の第59回全国大会広島大会開催に向けて本県が大切にしていた姿勢は、「決して派手さを求めるのではなく、いつもの県P連の活動と全国研究大会の取り組みを車の両輪の如くバランスよく、それぞれが補い合い自然体で取り組んでいく。」ことでした。

三行詩コンクール（楽しい子育て）全国キャンペーン

〜家庭で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ〜



平成26年9月18日（木）県P連事務局において、県P理事・監事が集い審査を行いました。
応募総数、2779点の中から小・中学生の部、各三〇点、一般の部5点を選出しました。
小・中学生の部は、県教委義務教育指導課に依頼し、各5点の候補作品を選出いただいた後に、県P役員が最終決定し、日本PTAへ第一次審査通過作品として推薦しました。
応募総数は、冒頭のとおりですが、この数字は本事業が始まった平成22年の5倍以上になります。
こうした要因には単位P等の特色ある取り組みが挙げられます。
中でも、福山市立小中学校では、Pと共催して、児童や保護者を対象に三行詩の募集・表彰を行い、大きな成果を上げておられます。



審査風景

第一次審査通過作品紹介

●小学生の部

北広島町立豊平小学校1年 佐々木 菜穂
あったかい パパのて ママのて わたしのて

竹原市立竹原小学校1年 森下 実羽
ふしぎだな
わたしがわらうと、みんな、にこにこ。
かぞくって、かがみみたい。

呉市立内海小学校3年 中島 匠翔
夜ご飯「うめー」「うめー」とやぎのまね
家ぞくみんなで大合しよう

呉市立和庄小学校2年 山之内 愛風
おかあさんは、おそうじめいじん。
わたしは、おこめとぎめい人。
おとうとは、おこられめい人。
おばあちゃんは、見まもるめい人。

竹原市立竹原小学校1年 田中 宗次郎
ゆうがたは、ママがいちばんいいそがしい
ママをおいかけてなくおとうと
ぼくのだっこでがまんしてね

●中学生の部

福山市立東朋中学校3年 山本 彩芽
あたりまえ そう思わずに ありがとう

呉市立広中央中学校3年 稲葉 志織
テレビ見てたらおかしくて
笑っていたら母さんも同じところで笑ってた
やっぱり親子は似ているなあ

東広島市立八本松中学校1年 竹内 彩乃
父は私をしっかり支えてくれる大地
母は私をやさしく照らしてくれる太陽
弟は私を笑顔で元気にしてくれる水
だから私は大きく美しい 花を咲かせるんだ

福山市立神辺中学校3年 池田 彩
両親の笑顔見る度 こう思う。
父さんと母さんの子供でよかった。
この気持ち、今度はちゃんと伝えたい。

呉市立下蒲刈中学校2年 實谷 日和
「はいおはよう。」 毎日されるハグ
いやそつな顔するが
私の心は、うれしいよ。

●一般の部

北広島町立豊平小学校 平田 由紀子
気をつけてネ！と手を振り
見送る孫も大きくなり
はじめ5人が今は2人
努力すること 忘れず
大きなあれ 人として!!

福山市立小中学校 古志 千恵子
行つて来ますと
元気に駆け出すその背中
今日も無事でと笑顔で送る

北広島町立豊平小学校 浅香 優子
宿題まだ？と聞く母と、
ごはんまだ？と聞く息子
どっちが早い競争だ！

福山市立春日小学校 杉原 清子
どんなに怒っても怒られても
最後はグユーして笑顔になるう

北広島町立豊平中学校 河野 夏代
真っ黒に汚れた練習着でも
汗だくになった作業着でも
頑張ってる家族が
母さんの幸せです。

●PTA活動Q&A●

「PTA役員に求められることは？」
〜改めて規約を読み直してみよう〜

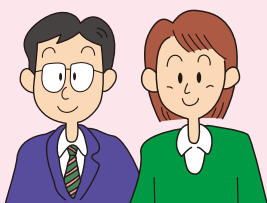
PTAは、児童生徒の健全な育成を計ることを目的に、保護者と教職員が協力して学校・家庭・地域社会における教育の振興・充実に努めることを主な目的としており、一般的には、会長・副会長・会計及び会計監査等の役員で構成されています。

これらの役員は、PTAの方針や役割等を理解するとともに、教育への情熱を持ち、人との和を大切にするとともに、日頃から会員の声に耳を傾け、民主的で活気ある組織運営に努めなければなりません。

そのためには、組織活動の取り決めである規約を熟知しておく必要があります。規約には、各単位PTAや郡市PTAなどの基本的な活動方針、目的や特徴、運営方針や会費などが明示してありますが、決して固定的なものではなく、社会の変化に即した改正や組織改編をすることもあります。

また、規約だけでは対応できない場合は、細則などを設けることも必要となります。

PTA役員として、規約・細則等に基づいた民主的な組織運営をするためにも、会員一人一人が日頃から規約を熟読し、身近な手引書として大いに活用したいものです。



広島県PTA連合会

（参考：PTAハンドブック）

「道徳教育」を身近なものにするために

心を耕す 「これからの道徳教育」

今年度より小中学校で使用されている教材は、これまでの「心のノート」を全面改定し、児童生徒が道徳的価値について自ら考え、行動できるようになることをねらいとして作成されたものです。

この教材は、はじめの問題、情報モラル、我が国の伝統と文化に関することなどが、「読み物部分」「書き物部分」とで構成されており、家庭や地域でも活用できます。

本年八月十八日に行われた広島県教育委員会主催の「道徳教育パワーアップフォーラム」では、県内小中学校、特別支援学校の先生方によって、新教材「私たちの道徳」を使った授業について熱心な意見交換がなされました。ここでは詳細は省略しますが、この教材をお子様と一緒にご覧になってはいかがでしょうか。

「道徳の授業は子どもたちの『心を耕す』もの」と知人の教師は言っています。私たち保護者も児童生徒の心がしっかり育つように、いっしょに子どもの心を『耕して』いきたいものですね。

(広島県P会計 大場由美子)



新教材表紙

道徳教育のすすめ

道徳教育をすすめていくためには、学校・家庭・地域の連携・協力が不可欠です。新教材「私たちの道徳」の活用状況等についての日Pのアンケート項目を紹介しますので、郡市P等でご活用ください。

- 一 ご覧になったことがありますか。
- 二 これをもとに子どもと話し合ったことがありますか。
- 三 常に家に持って帰っていますか。
- 四 なんの授業・活動で使われているか。
- 五 週にどの位の頻度で活用されているか。
- 六 この教材はためになると感じますか。

※四・五是学校での状況です。

広報委員紹介

吉本 大次郎 (豊田・竹原)
向井 恵美 (廿日市市)
小川 剛司 (大竹市)
伊藤 理香 (安芸郡)
武田 美千代 (安芸高田市)
吉森 溢美 (庄原市)

長崎大会の第四分科会で学んだPTA新聞の役割や重要性を踏まえ、今後のPTA新聞づくりに努めています。

(吉本広報委員長)

充実の補償で お子様を サポートします

●誤って他人のものを壊したり、他人にケガをさせてしまったら…
(加害事故の補償)

インターンシップ(職場体験)やアルバイトに起因する法律上の賠償責任も対象となります。

●授業中やクラブ活動など、校内外を問わず発生する急激かつ偶然な外来の事故によるケガや病気*の補償

*病気入院補償はWプランのみ対象です。



団体割引適用で 割安な保険料!

団体割引25%
損害率による割引25%適用
スクールメディカルデスク24でお子様の健康相談を24時間受付

- 学校管理下中の学用品・身の回り品などの補償
- 育英費用等

充実の補償でお子様をサポートします。 広島県PTA連合会 小・中学生総合保障制度



小・中学生総合保障制度はこども総合保険のペイトネームです。この広告は「広島県PTA連合会小・中学生総合保障制度」の概要について紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読み下さい。詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点がございましたら取扱代理店・引受保険会社までお問合せください。この保険契約は、以下の保険会社による共同保険契約であり、東京海上日動火災保険が他の引受保険会社の代理・代行を行います。各引受保険会社は、契約締結時に決定する引受割合に応じて、連帯することなく単独個別に保険契約上の責任を負います。なお、引受割合につきましては、団体窓口にご確認ください。

平成26年7月作成 募文No14-T-02910



引受幹事保険会社

東京海上日動火災保険株式会社

お問合せ先・取扱代理店: (株)東海日動パートナーズ中国四国 TEL: 0120-018-217
保険会社: 東京海上日動火災保険株式会社 広島支店 広島中央支店 TEL: 082-511-9194

パンフレット・重要事項説明書は左記「お問合せ先」にご請求下さい。

共同引受保険会社

あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP